

熊本県高森町の教育改革

高森町新教育プラン

〈第4次改訂〉



熊本県高森町教育委員会

令和5年10月発行

高森町の教育ビジョン 「高森町新教育プラン」の推進

人口減少社会

- ・ 情報化・国際化への対応
- ・ ローカルオプティマムとナショナルスタンダードのバランス

1 教育は人なり

- (1) 教職員ファースト（教育研究会の活性化）
- (2) 「高森の先生たちが風を興している」

〈風を興す〉

2 確かな教育ビジョン

- (1) 高森町新教育プラン（平成24年3月～）
- (2) コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育
ICTの位置付け

〈風を読む〉

3 ビジョンの共有

- (1) 町を挙げての教育改革
- (2) 町長の施策に乗る。議会の支援を得る

〈風に乗る〉

学校の情報化先進地域、先進校認定

全国に先駆けて町内全学校が先進校認定



2021年度 町内全校が優良校に再認定



（日本教育工学協会 学校情報化認定）

第4次 高森町新教育プラン:「つなぐ」

高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育

- 1 高森の子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を醸成する。
- 2 高森の地域力を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- 3 高森町行政と連携した「教育環境の整備」を推進する。
- 4 高森町教職員の資質を高める「高森町教育研究会の活性化」を図る。

重点施策

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育

1 コミュニティ・スクールの導入

- (1) 研究推進…文部科学省委託事業(H24～H26)
- (2) 指定…H26年4月1日(学校運営協議会の設置)①高森東学園学校運営協議会 ②高森中央学園学校運営協議会
- (3) 文部科学省委託事業「首長部局との協働による新たな学校モデル構築事業」(H27～H29)
- (4) 文部科学省委託事業「学校運営協議会の設置拡充に向けた調査研究事業」(H30)

2 小中一貫教育の導入

- (1) 小中兼務辞令(県教委:H24～)…高森東学園・高森中央学園構想
- (2) 小学校からの英語教育導入による英語教育の強化
 - ①「わくわくイングリッシュ」の創設…文部科学省教育課程特例校(H25～H26)
 - ②小中学校9か年の英語教育の体系化…文部科学省教育課程特例校(H30～)
 - ③小中一貫オンライン英語学習(GLILプログラム)の導入(R5～)
- (3) 小中一貫教育カリキュラムの研究
 - ①各教科・領域における小中の接続及び中1ギャップの解消(4・3・2制のカリキュラム)
 - ②小中一貫カリキュラムによるプログラミング教育
- (4) 文部科学省委託事業「外国語教育強化拠点事業」(H27～H29)
 - ①町内全校(小・中・義務教育学校・県立高森高校)…文部科学省研究開発学校
- (5) 高森東学園義務教育学校開校(H29年4月1日)

3 ふるさと教育の推進

- (1)「高森ふるさと学」の創設…文部科学省教育課程特例校(H25～)
- (2)「私たちの高森町」の作成(H24)…小学校社会科副読本(改訂H31～)
- (3)「特別の教科 道徳」の創設にあわせた、道徳教育用郷土資料「高森の心」作成(H25・H26)
- (4)教育指導員の配置(H24～R2)

4 教育環境の整備

- (1)ICT環境の整備…(学校情報化先進地域、全ての学校が学校情報化先進校に認定)
 - ①電子黒板・実物投影機の導入(46台)…全小中学校普通教室27台(H24) 特別教室12台(H25、H28) 特別支援学級4台(H28) 体育館等3台(H28)
 - ②タブレット端末の導入…500台(H25～:児童生徒、教職員一人一台)更新400台(R4)
 - ③デジタル教科書(学習者用を含む)の導入…全小中学校各教科(H24～)
 - ④校務支援システム、教務支援システムの導入…全小中学校(H24)
 - ⑤教育CIO(最高情報責任者)の導入…(H26～) ⑥ICT支援員の配置(H26～1名、R5～3人体制)
 - ⑦タブレット図書館の整備…(R2～全小中学校、R5～町民向け)
- (2)町費負担教職員の配置
 - ①複式学級の解消(H24～) ②高森中央小学校、高森中学校 35人学級の導入(H25～)
- (3)教育相談・子育て支援の充実
 - ①特別支援教育相談員の配置(H24～R3) ②特別支援教育指導員の配置(R3～)
 - ③高森町教育支援センターの設置(R5～公設民営型)
- (4)文部科学省委託事業「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」(H27～H29) ICTを活用した遠隔合同授業実践ガイドの作成(H29)
- (5)文部科学省委託事業「遠隔教育システム導入実証研究事業」(H30～R2)
- (6)文部科学省委託事業「リーディングDXスクール事業」(R5～)GIGAスクールにおける学びの充実

5 高森町教育研究会の活性化(高森町新教育プランの推進)

- (1)校長を中心とした教職員の資質の向上
 - ①文部科学大臣優秀教職員表彰2 ②熊本県優秀教職員表彰4
 - ③ICT夢コンテスト文部科学大臣賞1・総務大臣賞等受賞1

H24年3月	第1次プラン策定
H27年4月	第2次プラン策定
H31年4月	第3次プラン策定
R5年4月	第4次プラン策定

第4次 高森町新教育プランの全体構想

スローガン

高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育

<重点施策>

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育

目 標

- 1 高森の子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を醸成する。
- 2 高森の地域性を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- 3 高森町行政と連携した「教育環境の整備」を推進する。
- 4 高森町教職員の資質を高める「高森町教育研究会の活性化」を図る。

学びのDXの推進

- 自立した学習者の育成
- 外部専門機関との連携

多様性への対応

- 公設民営型「高森町教育支援センター」の設置・機能拡充
- 高森町タブレット図書館の展開

教職員の働き方改革

- ICT支援員各校一人配置
- 校務のDX化

教育DXの推進

～誰一人取り残さない令和の日本型学校教育～
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～

高森町新教育プラン(教育改革) 1 2 年間の歩み

平成 2 4 年 3 月「高森町新教育プラン（第 1 次）」策定

平成 2 4 年度

研究指定

- 文部科学省委託「コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究」（～H26）

企業との連携

- D I S (ダイワボウ情報システム)「スクール・イノベーション・プロジェクト」（～H26）

主な教育改革・取組等

- 「私たちの高森町」（小学校社会科副読本）作成
- 小中兼務辞令による小中一貫教育導入
- 町費負担教職員の配置（高森東小学校複式学級の解消）
- 特別支援教育相談員、教育指導員配置

教育環境の整備

- 電子黒板、実物投影機導入（～H28）
- タブレット端末導入（～H30）
- デジタル教科書導入
- 校務支援システム、教務支援システム導入

平成 2 5 年度

研究指定

- 熊本県教育委員会指定「I C Tを活用した『未来の学校』創造プロジェクト推進事業」研究推進校（全小中学校～H27）
- 文部科学省教育課程特例校（「高森ふるさと学」及び「わくわくイングリッシュ（小学校低学年からの英語教育）」の創設（～H27）

主な教育改革・取組等

- 「高森の心」（道德教育用郷土資料）の作成
- 町費負担教職員の配置（高森中央小学校・高森中学校35人学級導入）
- 道德教育用郷土資料「高森の心」作成（～H26）
- 第 1 回 高森町研究発表会開催（1月16日）

教育環境の整備

- 学校 C M S (コンテンツ管理システム：県教育委員会提供)の導入

平成 2 6 年度

研究指定

- コミュニティ・スクール指定（高森東学園・高森中央学園学校運営協議会の設置）

主な教育改革・取組等

- C I O 制度の導入
- I C T 支援員の配置
- 第 2 回 高森町研究発表会開催(12月5日)

高森町新教育プラン(教育改革) 12年間の歩み

平成27年4月「高森町新教育プラン（第2次）策定

平成27年度

研究指定

- 文部科学省委託「首長部局との協働による新たな学校モデル構築事業」（～H29）
- 文部科学省委託「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」（～H29）
- 文部科学省委託「外国語教育強化地域拠点事業」（～H29）
- 文部科学省指定「英語教育研究開発学校」（全小中学校・高校～H29）

主な教育改革・取組等

- 第1回 熊本県高森町新教育プラン推進フォーラム開催
- 第3回 熊本県高森町研究発表会開催(11月6日)

平成28年度 ※ 熊本地震発生(4月14日・16日) 研究発表会を熊本市パレアで実施

主な教育改革・取組等

- 第2回 熊本県高森町新教育プラン推進フォーラム開催
- 第4回 熊本県高森町研究発表会(ICT活用セミナー)開催(12月26日)

平成29年度 ※ 高森東学園義務教育学校開校

企業との連携

- 高森町、県教育委員会、インテル連携協定(21世紀型スキルの育成、小・中・高の連携)

主な教育改革・取組等

- 文部科学省委託「英語教育強化地域拠点事業」研究発表会開催(県立高森高校を含む)
- 「阿蘇郡市教育委員会連絡協議会指定」研究発表会開催(高森東学園義務教育学校)
- 「ICTを活用した遠隔合同授業実践ガイド」作成
- 熊本県高森町「プログラミング教育親子セミナー」開催
- 第3回熊本県高森町教育フォーラム(名称変更)開催
- 第5回熊本県高森町研究発表会開催(12月1日)

平成30年度

研究指定

- 総務省指定「地域におけるIoT実装に関する事業」
- 文部科学省委託「学校運営協議会の設置拡充に向けた調査研究事業」
- 文部科学省教育課程特例校「小中9か年の英語教育の体系化」(H30～)
- 文部科学省委託「学校ICT環境整備促進実証研究事業」(～R1)

主な教育改革・取組等

- 第6回 熊本県高森町研究発表会開催(1月11日)

高森町新教育プラン(教育改革) 1 2 年間の歩み

平成31年4月「高森町新教育プラン（第3次）策定

平成31年度（令和元年度）

企業との連携

- 高森町、(株)コアミックス連携協定（エンタメ業界と連携した町づくり）

主な教育改革・取組等

- 「私たちの高森町」（小学校社会科副読本）の改訂（H31～）
- 熊本県高森町情報活用親子セミナー開催
- 第4回 熊本県高森町教育フォーラム開催
- 第7回 熊本県高森町研究発表会開催（10月25日）

令和2年度 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校（R3.2月末～5月上旬）

研究指定

- 文部科学省委託「遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証研究事業」

企業との連携

- 高森町・教育委員会・熊日新聞社連携協定（タブレット図書館）

主な教育改革・取組等

- 学校教育におけるタブレット図書館の運用開始
- 第8回 熊本県高森町研究発表会開催

令和3年度 ※天皇皇后両陛下オンライン行幸啓（5月12日）

研究指定

- 熊本県教育委員会指定「くまもとGIGAスクールプロジェクトモデル地域」

企業との連携

- 高森町・県教育委員会・高森高校・コアミックス連携協定（県立高森高校の魅力向上）

主な教育改革・取組等

- タブレット端末一斉更新（Chromebook）
- 第9回 熊本県高森町研究発表会（オンライン）開催（10月23日）

令和4年度

企業との連携

- 高森町・教育委員会・熊本朝日放送連携協定（授業連携、コンテンツ活用）

主な教育改革・取組等

- 校務用端末の更新（指導者用タブレット端末としても活用可能となる）
- 住民向けタブレット図書館運用に係る実証研究開始
- 第10回 熊本県高森町研究発表会開催（10月21日）

高森町新教育プラン(教育改革) 12年間の歩み

天皇皇后両陛下の行幸啓

令和3年5月12日熊日新聞



高森町では平成24（2012）年から全ての学校に電子黒板やタブレット端末を段階的に導入して教育の情報化を進め、全国に先駆けてオンライン授業やプログラミング教育などに取り組んできました。

令和3（2021）年5月には、「子どもの日」にちなんだ視察として、初めてオンラインによる行幸啓を賜りました。両陛下は、児童の学びをより主体的で深い学びにつなげるため、高森ふるさと学（総合的な学習の時間）に位置付けられたプログラミングの授業をご覧になりました。両陛下からは「ICTが非常に有効に活用され、可能性が広がってきているように見える。」というお言葉をいただきました。

学びをとめないコロナ禍のオンライン授業 令和2年3月5日～5月20日



令和2（2020）年2月、新型コロナウイルス感染症対策の一環として全国一斉臨時休校措置がとられました。本町では、いち早く全児童生徒の家庭にインターネット環境を整備し、それまで積み上げてきた遠隔教育のノウハウを生かして全国に先駆け、オンライン授業を展開しました。このオンライン授業のノウハウは、その後も不登校や別室登校、長期療養中の児童生徒へのオンライン授業として生かされています。

第4次 高森町新教育プランの具体的な取り組み

1 確かな学力の育成

令和4年度～ 「自立した学習者」研究 **教育DXの推進**

1人1台端末とクラウドサービスの活用

自立した学習者の探究型学習モデル

＝学習者主体の子どもの学びモデル

教科の特性や学習内容、発達段階に応じて学習モデルを使い分け・融合

研究主題

自立した学習者の育成

～サブテーマは各学校の特色を生かして設定～

自立した学習者に必要と考える資質・能力

①自ら課題を設定し、
解決への過程や方法
を決定する力

②他者と協働して
課題を解決する力

③自らの学びの状
況を把握し、学び
を調整する力

各教科・領域で育む資質・能力

学びの基盤となる資質・能力
(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)

児童生徒による効果的な端末活用

12年間の積み重ねにより築かれた姿

教師の姿

- 有識者による継続した指導
- 高森町教育研究会の活性化
- 研究発表会の継続開催

児童・生徒の姿

- 優れた情報活用スキル
- 醸成された情報モラル
- 自律的な学級集団

地域の姿

- 町を挙げての教育改革
- 一人一台端末の早期導入
- 全家庭Wi-Fi環境の整備

第4次 高森町新教育プランの具体的取り組み

2 コミュニティ・スクールと新たな学校モデル

高森町では、平成26年度に、高森東中学校区(現 高森東学園義務教育学校区)を「高森東学園」、高森中学校区(高森中央小学校・高森中学校)を「高森中央学園」としてコミュニティ・スクールに指定し、これを基盤とする小中一貫教育とふるさと教育に取り組んでいます。

これまで、両学園の学校運営協議会が熟議のもとに行ってきた学校運営への支援・協力は、その積み重ねを増すごとに学校と保護者及び地域住民との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に繋がっており、本町教育の土台ともなっています。



学校運営協議会において、「地域活性化プラン」を説明する高森東学園6年児童



PTAや地域の方々を講師として招いて行った職業講話(高森中1年)

また、高森中央小と高森東学園の3年生は、草部地区にある郷土資料館と吉見窯(陶器)の見学を行っています。そのような中、令和5(2023)年7月に、吉見窯陶芸教室の皆さんから「社会科や図工の学習に生かしてほしい。」と、6年生に縄文土器や土偶、古墳時代の埴輪のレプリカ計17点の寄贈がありました。このように、地域学校協働活動の取組から、地域の方々との新たな繋がりも生まれています。



吉見窯教室の皆さんと
(高森東学園義務教育学校)



児童代表に渡されたレプリカ
(高森中央小学校)

第4次 高森町新教育プランの具体的取り組み

3 小中一貫教育と高森東学園義務教育学校

「小中一貫教育」は、中1ギャップや不登校、いじめ等の今日的教育課題の解決に向けて有効な教育施策として、以前から多くの学校において様々な形態や内容で取り組まれてきました。高森町新教育プランにおいて、教育課程特例校制度や小中兼務辞令などを活用し、小学校における英語教育や町独自の「高森ふるさと学」を創設して小中一貫教育を推進してきました。改正学校教育法が成立し、平成28年度から「義務教育学校」が新しい学校の種類として位置付けられ、「小中一貫教育」が法的に整備されました。高森町では、平成29年4月に施設一体型の高森東学園義務教育学校を開校し、小中一貫教育の更なる充実を図っています。また、「高森中央学園」（高森中央小学校と高森中学校）では、施設分離型の小中一貫教育に取り組んでおり、現在、施設一体型の高森中央学園義務教育学校の新設に向けて協議を進めているところです。

高森東学園義務教育学校

4・3・2のブロック制

前期課程（1年～6年）				後期課程（7年～9年）				
Sブロック				Mブロック			Lブロック	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
学級担任制 ※音楽（1年から）、体育（3年から）教科担任制				教科担任制 ※5年生は6教科で教科担任制（R5年度）				

- 各ブロックに、主任、副担任、学力向上推進リーダー、生徒指導
- 6年生から教科担任制（専門性を生かした指導の充実）
- 5年生から定期考査の実施（指導と評価の一体化）

異学年交流

&

外部との遠隔授業



第4次 高森町新教育プランの具体的取り組み

4 教育の原点「ふるさと教育」

わたくしたちのふるさと高森は阿蘇の中でも特に多くの豊かな自然に恵まれています。そして「神話の里」として神代の昔から多くの文化財が祖先の偉大な功績によって綿々と受け継がれてきました。

このふるさと高森の自然や文化を子どもたちが学び、高森町の課題に向きあい、未来のふるさと高森の在り方を模索していくのが「高森ふるさと学」です。「高森ふるさと学」は、小中一貫したカリキュラムの下で展開され、職場体験や農業体験など豊かな体験を通してふるさと高森を学びます。そしてその体験の集大成として、中学校3年生が「子ども議会」に臨みます。この子ども議会は子どもたちが議員となり自分たちで調査・分析した様々な施策を町行政執行部に提案していきます。その中には町執行部や議員の皆様も驚かれるような、するどい視点が多く見られます。



高森を学ぶ豊かな自作教材

道徳教育は子どもたちに「豊かな心」を育み、子どもたち自身が自らの生き方の土台を形作るための要となります。平成30年からすべての小中学校で「特別の教科 道徳」の授業が始まりました。特に教材は子どもたちに身近な道徳資料が求められ、郷土の自然や文化を伝承してきた先人などの郷土資料が大切になります。これまでも学校では多くの先生方により、こうした地域教材が教材化されてきましたが、その根底には道徳と子どもの体験が切り離せないという事実があります。高森町はいち早くこの教育の風をつかみ、道徳教育用郷土資料「高森の心」を編纂しました。全ての先生方が日常的に取り組めるよう、授業の進め方のモデルや電子黒板等ICT機器で活用するデジタル教材もあわせて開発しました。



また、朗読には地域の読み聞かせグループの協力を得て子どもの心に響く朗読教材も準備しています。

「高森の心」は小学校版3分冊（低中高学年用）と中学校版の計4分冊で総計42編の教材が収録されています。この教材で学ぶことが、子どもたちが高森の心を正しく受け継ぎ、さらに豊かなものとして次の時代に伝えてくれる出発点になることを願っています。

第4次 高森町新教育プランの具体的取り組み

5 高森の教育ブランドをめざして

高森町教育研究会の活性化



有識者による継続的支援による授業力向上



毎年、県内外に向けた授業の公開

全国各地・海外からの視察



文部科学大臣政務官視察



台湾行政院農業委員会視察

高森町子ども議会・新しい時代の高森を創る



子どもたちはこれからの時代を生きていきます。それはグローバル社会であり、情報基盤社会です。私たち熊本県高森町教育委員会は、子どもたちに、その社会の変化に対応できる力を、これまでの教育の成果の上に構築していきたいと考えます。

表 彰 等

文部科学大臣表彰

平成28年度 日本教育情報化振興会ICT夢コンテスト文部科学大臣賞
(高森中学校教諭)

平成29年度 日本教育情報化振興会ICT夢コンテスト文部科学大臣賞
(高森中央小学校教諭)

平成30年度 文部科学大臣優秀教職員表彰 (教育研究会:ICT部会)

令和 2年度 文部科学大臣表彰 (地方教育行政功労者:教育長)

令和 2年度 文部科学大臣優秀教職員表彰 (教育研究会:英語教育部会)

総務大臣表彰

平成26年度 総務省地域情報化大賞奨励賞受賞 (高森町教育委員会)

平成28年度 日本教育情報化振興会ICT夢コンテスト総務大臣賞
(高森東小学校教諭)

※平成28年度 総務省情報通信月間表彰(九州総合通信局長表彰:教育委員会)

熊本県表彰

平成29年度 熊本県優秀教職員等表彰(2)
(教育研究会:ICT部会、高森東学園教諭)

平成30年度 熊本県優秀教職員等表彰(2)
(教育研究会:英語教育部会、高森中学校教諭)

令和 2年度 熊本県優秀教職員等表彰 (教育研究会:ふるさと教育部会)

令和 3年度 熊本県優秀教職員等表彰(2)
(教育研究会:すこやか部会、中央小学校教諭)

令和 4年度 熊本県優秀教職員等表彰 (高森東学園義務教育学校)

日本教育工学協会学校情報化認定

平成26～27年度 町内全校が優良校に認定

平成27～29年度 町内全校が先進校に認定

平成28年度 高森町が先進地域に認定

